

高齢者の気持ちになって 考えてみましょう

みなさんは、高齢者に対してどのようなイメージを持っていますか。

次のお話を読んでみてください。

僕の家は八百屋だ。「いらっしやい」と父の元気な声が響く。「おばあちゃんは座っててください」と気遣う母の声が聞こえるのも、いつものこと。でもなんだか最近おばあちゃんは元気がない。

ある日の夕方、学校から帰ると「いらっしやい、いらっしやい」と元気な声。なんとおばあちゃんの声だ。「あれ、おばあちゃん一人？」「みんな配達に行っとるよ。今日は白菜がきれいですよ。はい、ありがとう」。いつもと違う生き生きとした表情。ちょっとゆっくりだけど、きちんと野菜を包んでお金を受け取る。お客さんもおばあちゃんのアドバイスをもとに、野菜を選んでいく。

「よかれと思って『座っててください』と言っていたけど、おばあちゃんにとっては、楽しみを奪われていたようなものかねえ」。いつの間にか帰ってきていた父と母が、明るいおばあちゃんの様子を見ながら話していた。

人は誰でも年をとると心身の機能の低下がみられるものですが、その度合いは人によって違いがあります。年齢だけで「高齢者は○○だ」と決めつける固定的な思い込みが、誤解や偏見につながります。また逆に「高齢者にそんなことをさせて」などと特別扱いすること、本人の意思が反映されていなければ、その人の人権を尊重したことにはならない場合があります。

近年は、高齢であっても働いたり、地域活動に参加する人も多く、ライフスタイルや価値観もさまざまです。一人一人が個人として尊重され、その人らしく暮らしていける社会をつくることは、私たちの責任であり、ひいては、私たち自身の幸せにつながることもなります。

県人権同和政策課「人権研修テキスト」参照

町内・御船署管内の事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	発生状況(件)			
	町内		御船署管内	
	6月中	累計	6月中	累計
人身事故	7	54	19	121
物損事故	68	400	154	1021
空き巣	0	0	1	6
自販機狙い	0	1	0	1
万引き	0	0	6	22
オートバイ盗	0	1	0	2
自転車盗	1	5	3	11
車上狙い	0	4	1	11

件数は平成27年6月末現在

問い合わせ先

役場総務課防災係 ☎ 286-3111

御船警察署・御船地区防犯協会連合会

☎ 282-1110 / ☎ 261 ~ 264

くらい支払っているかが分からないということになりかねません。
●カードの申込時と利用時の注意
リボ払い専用カードと気付かず
に申し込み、後日請求書を見て初めて気づいたという相談が消費生活センターに寄せられています。
また、「ミニマムペイメント」など、
リボ払いとは異なる名称で、実態はリボ払い専用というカードが見受けられるので注意しましょう。
リボ払いは借金です。手数料がかかることを意識し、計画性をもって利用しましょう。

問い合わせ先

役場住民生活課住民係 ☎ 286-3112

(上益城広域消費生活相談室)

師であったが、ある朝放し飼いの鶏のけたたましい声に雨戸を繰ると、余程飢えていると見えて若い薩兵が鶏を追廻している。誰何すると赤鞘の大刀を代償に鶏を持ち去ったという。戦後に復員した時には日本刀は進駐軍(占領米軍)から没収されていた。
⑦千円の献金

(上町の福井すず女氏談)

木山の「酒屋」福永家は当時木山で造り酒屋を営み近郷の富豪であった。当主は養子であったが、当時の金で壱千円の大金を献納した。その時、薩軍勝利の暁には新政府から百石取りの武士に取り立てるとの約束であったが、敗軍により空手形になった。それが原因で福永家は大きく傾いたといわれる。

●福永氏は金納郷士であったが、たとえ農村での有力者である一領一匹や惣庄屋であっても、肥後藩の武士の階級制度では最下級の足輕に過ぎず、乗馬が許される百石(正式の武士)旧日本軍での少尉、自衛隊での三尉(取りの武士は、上昇志向の強い金納郷士にはあこがれの夢であつたろう。

益城町文化財を訪ねる会
会長 松野國策